



# みなみおか

第13号  
2019.12.3  
発行



## 令和元年も、あと1か月で終わりです。



先週は、お忙しい中個人懇談に来校いただきありがとうございました。短い時間でしたが、子どもの様子を交流できてとても有意義な懇談となりました。また、11月には授業アンケートにご協力いただきありがとうございました。このアンケートはあくまでもそれぞれの教員の日ごろの授業についてお伺いしたもので、管理職以外の者が見ることはありません。一人ひとりの授業を丁寧に評価いただきありがとうございました。

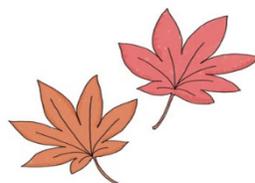
さて、今年も残すところあと一か月です。2学期は大きな行事があり、ずいぶんと子どもたちは成長しました。12月は1年を締めくくる時期でもありますので、12月の朝会では次のような話をしました。

今年の1月に「自分を創ろう～心・脳・体を鍛えて素敵な人になろう」という話をしたことを伝えました。(1月の学校だよりを参照ください)この1年間、しっかり鍛えることができたかどうかを振り返るために、鹿児島県の9歳の小学生の書いた読書感想文を紹介しました。

内容は「学校行かなそんそん」という本を読んで、「寂しいことがあっても周りの人を大切にしたら楽しくなっていくということ、人の心は安心すると次の一歩を踏み出せる」ということを学び、自分の大切な友達が転校先で頑張っていることから、自分自身も「難しいと思うことがあっても大丈夫だと安心してチャレンジしていくことと本に出てくる中津先生のように安心するような優しい人になりたい」と考え、「学校行かなそんそん」で毎日学校を楽しんでいるという作文です。

学校は、心・脳・体をしっかりと鍛えられる場です。学校は楽しいことやうれしいことばかりではないけど、困ったこと、いやなことみんな考え乗り越えたとすっきりしたり、ちょっと成長を実感したりする場でもあります。だから、もっともっと、自分自身で学校を楽しんでほしいと思っています。

そして、学校でする勉強は何も国語や算数などの教科だけではありません。少し難しい話になりますが、認知能力と非認知能力がありどちらも大切です。簡単に言うと、点数等で表せる



のを認知能力、「目標に向かってがんばる力」「友達とつながる力」「感情をコントロールする力」などが非認知能力とです。両方とも鍛えられていますか?これからの社会は、ますますコンピュータが進化して、認知能力は人間を上回っていきますが、非認知能力はコンピュータには難しいです。だからこそ、数字で表すことのできる能力ばかりにとらわれなくて、非認知能力もしっかりと鍛えてほしいと思っています。12月はあっという間に過ぎていきます。1年の締めくくりをして、新しい年を迎えましょう!

## 12月の生活目標は「身の回りの整理整とんをしよう!」



朝会では、今月の生活目標の話もありました。何をやるにも大切なことは①あいさつ②整理整とんだということでした。締めくくりをしっかりとするためにも整理整とんは大切です。

## 寒い冬の過ごし方～ご理解、ご協力をお願いします!～

ようやく冬らしくなり、寒さも日ごとに厳しくなっています。寒くなると手袋やマフラー、ネックウォーマー、カイロ…など、体を温めてくれるグッズが恋しくなるものです。そこで、「寒い時期の約束」について、各学級で子どもたちに話しましたが、保護者の皆様にもご理解とご協力をいただきたいと思います。1つ目は、マフラー、手袋、ニット帽子及び防寒着等のことです。行き帰りはとても寒いのでもちろん着用することは認めています。学校に着くとこれらはすべてロッカーにしまうことにしています。時折、教室内でニット帽をかぶっていたり、ネックウォーマーをしている子どもたちを見かけますが、取るように指導をしていますので、何か配慮が必要な場合は担任に相談ください。

また、カイロについても「原則持っていない」ことにしました。授業中出して遊んでいる子や友達に渡すために投げたりする子もいます。破れていて、粉が目に入る事案も起こっています。どうしても必要な場合は身に付けていただいても結構ですが、その際には学校で出さないように声掛けしていただければと思っています。その他、リップクリームやハンドクリーム、トローチなども「原則は持っていない」ことにしていますが、必要な場合は担任に相談し許可を得るようお願いいたします。

学校には、多様な子どもたちが一緒に生活をする場です。だから、目安としてのルールが多くなってしまっていますが、これらはどの子も快適に学校生活を送れるようにとの考えで示しています。しかし、中にはそれぞれの事情でルールに従えない子どももいます。そのような場合は個別に対応しますので、遠慮なくご相談ください。

